

## 再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：下保 修

事業名	一般国道169号 <small>たかとり</small> 高取バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	奈良県
起終点	自：奈良県高市郡高取町兵庫 至：奈良県高市郡高取町清水谷		延長	3.4 km		
事業概要						
一般国道169号は、奈良市を起点として大和平野地域の桜井市、橿原市、五條吉野地域の大淀町、下北山村等を経て和歌山県新宮市に至る延長約164kmの幹線道路であり、大和平野地域と五條吉野地域及び紀伊半島中心部を結び、大和平野地域と五條吉野地域の連携強化、活性化を支援する重要な路線である。 高取町内における一般国道169号の現道は2車線の改良済であるが、橿原市と吉野郡東部地域間の交通が集中し慢性的な交通渋滞をきたしている。高取バイパスは生活環境、利便性及び交通安全の向上を図り、地域間の連携強化、地域の活性化を支援する延長3.4kmの暫定2車線（完成4車線）道路である。						
H10年度事業化		H9年度都市計画決定		H13年度用地着手		H15年度工事着手
全体事業費		145億円		事業進捗率		33%
計画交通量		149～158百台/日		供用済延長		0 km
費用対効果 分析結果	B/C	総費用		総便益		基準年
	(事業全体) 1.4	(残事業)/(事業全体) 83/140億円 事業費：81/137億円 維持管理費：2.8/2.8億円		(残事業)/(事業全体) 189/189億円 走行時間短縮便益：156/156億円 走行経費減少便益：28/28億円 交通事故減少便益：5.2/5.2億円		平成19年
感度分析の結果		残事業について感度分析を実施				
		交通量変動：B/C=2.5（交通量+10%）		B/C=2.0（交通量-10%）		
		事業費変動：B/C=2.1（事業費+10%）		B/C=2.5（事業費-10%）		
事業の効果等						
・ 国土・地域ネットワークの構築（日常活動圏の中心都市へのアクセス向上） ・ 個性ある地域の形成（主要な観光地へのアクセス向上）						
他3項目に該当						
関係する地方公共団体等の意見						
高取バイパスは、地域交流の促進、交通混雑の緩和等に重要な役割を果たすことが期待されており、大淀町をはじめとする関係1市3町4村の首長で構成される国道169号整備促進協議会より早期整備の要望を受けている。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等						
平成16年に「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産に登録されたことによる吉野山の観光客数の増加						
事業の進捗状況、残事業の内容等						
用地買収率57%（面積）、事業進捗率33%（事業費）である。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等						
用地取得の難航及び埋蔵文化財出土に伴う発掘調査期間の延伸により事業進捗が遅れているが、引き続き用地取得を推進し、平成25年度の完成に向けて工事の推進を図る。						
施設の構造や工法の変更等						
現場発生土の現場内流用及び他工事への流用を図ることでコスト縮減に努める。						
対応方針		事業継続				
対応方針決定の理由						
以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。						
事業概要図						
位置図〔奈良県〕						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。